



南アルプス市立 白根飯野小学校

学校だより

「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

4月号

令和2年4月20日

編集 校長 岡こずえ

www.iino.m-alps.ed.jp/ 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載していきます

「学校再開」までの時間をチャンスに変えよう！

全校児童の皆さん、お元気ですか。進級おめでとう！そして、新入生の皆さん、早く入学式でみなさんに会いたいです。校長室には、教育界では有名な菊池省三先生の「価値語日めくりカレンダー」があります。今日20日は、「学び合いは寄り添いあうこと（一人ではありません。みんなで学ぶから、分かって楽しいのです。）」という言葉が真っ先に目に留まりました。みんなの明るく元気な声を早く聞きたいです。3月には皆さんが6年生のために色々と考えて準備をしてくれたのに「6年生を送る会」ができませんでした。そして、卒業式に参列することもできず、離任される先生方の紹介や修了式を放送で行うなど、皆さんにとっても学校生活が残念なものになってしまいましたね。クラスの友達や担任の先生にも早く会いたい気持ちでいっぱいだと思いますが、みんな同じ気持ちだと思うのでもう少し我慢してくださいね。

でも、こういう時だからこそ、できることをいろいろと考えてみましょう。私が中学校を卒業してから高校に入学するまでの約1か月の生活は、人生の中でもとても充実していました。その理由は、自分で好きなように時間が使えたからです。当時はまだ昭和の時代でしたから、ケータイもスマホもパソコンもありませんでした。自分のペースで生活ができることがうれしかったです。掃除に洗濯、夕飯の献立を考えて自転車で買い物に出かけるなど主婦さんながらの生活を楽しみ、高校生気分で大変難しい本を読んだり…。自分で決めて、自分で行動できることが私には合っていたのだと思います。

「大変」と書いて、「やりがい」と読む…。「学校再開」に向けて、今だからできることを考え、そのための準備をゆっくりペースでいいので進めましょう。そして、今こそ昨年度の家庭学習の取り組みを無駄にしないようにしましょう。

さて、保護者の皆様におかれましては、お子さんのことに加えてご自身のお仕事や家庭生活の変化等、大変なご苦労をされていることと推察いたします。そのような中であっても、お時間をつくって何度もご来校いただくことに対し、心苦しく大変なご心配をおかけしております。

「学校だより」はその月に行われた教育活動について、児童や保護者の皆様、そして学校ホームページにも掲載して多くの皆様方に白根飯野小学校の様子をお伝えしようとするものです。

始業式や入学式などの儀式的学校行事さえもまだ行われていない状況ですので、今回のお便りは「学校教育目標」のベースとなる「白根飯野小ランドデザイン」をご紹介します。本来ならばPTA総会で行間の部分をお伝えしたいのですが、それもできない不十分な発信のしかたに不安もあります。是非、昨年度の「学校だより」も合わせてご覧になっていただけるとありがたいです。

県学校教育指導重点

確かな学力 豊かな心
健やかな体
グローバルに活躍する人材
特別支援教育の推進

令和2年度

南アルプス市立白根飯野小学校グランドデザイン

南アルプス市教育大綱

「郷土に愛着と誇りを持ち、たくましく豊かな心を育む人づくり」



学校教育目標



「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

令和2年度飯野プリンシプル (重点目標)

言語環境・教室環境を整える

時間を守る

めざす子ども像

◇相手の気持ちが思いやれる子ども

○すべての子どもと職員が声を掛け合えるあたたかな学校

「学校が楽しい100%」

○上級生が下級生のお手本になる学校

飯野元気タイム

運動会・児童発表会

陸上記録会

(*白根巨摩中学校との交流)

○小中一貫教育の推進と
保育所・幼稚園との連携



◇対話し、学び、分かち合う子ども

○人や社会、自然とのかかわりを通し、感動できる教育課程の編成

カリキュラム・マネジメント

○見通しと振り返りを大切に
した授業改善とICT活用

「授業がわかる95%」

「家庭学習の手引き」の活用



◇みんなと支えあい、ともに働く子ども

○健康で健やかな生活をめざし
自己管理できる児童の育成

ちょいシンカ(進化)プロジェクト

○無言清掃、あいさつ

自問黙動清掃

グリーティングタッチ



○多様性を認め合い、いじめを許さない児童の育成



児童の行動指標

☆自己有用感を持ち、困難なことにも挑戦する児童

教職員の行動指標

☆協働性とOJTを大切に、学び続ける教職員

家庭・地域との協働

学校ホームページ、学校だより等で「社会に開かれた教育課程」を推進していきます。
地域の特色を生かした学習活動に取り組むとともに、地域や世界で活躍できる人材の育成に努めます。



子ども見守り隊、スクールガードリーダー、学校応援団等と連携
SC、SSW、子育て支援課、市教委等と連携したきめ細かな教育相談

